

内閣総理大臣 殿

「日朝平壤宣言」と6カ国協議の合意に基づき、日朝国交正常化の早期実現を求める要請

北東アジアの平和構築は、過去の戦争と植民地支配の歴史の反省の上に、日本国憲法の平和理念と各国の主権尊重の原則にたつて、早期に実現をはかるべき重要な課題です。

現在、日本と朝鮮民主主義人民共和国（北朝鮮）間には国交がなく、また、植民地支配の清算がいまだにできていません。このような異常な状態を一刻も早く終わらせ、実りある関係を樹立することは、地域の平和と安定への大きな寄与になります。

2002年の日本と北朝鮮の首脳会談は、国交正常化早期実現へあらゆる努力を傾注するとする「日朝平壤宣言」に合意しました。「日朝平壤宣言」に従い早期国交正常化への誠実な努力と具体的な行動を日本と北朝鮮がとることは、2005年9月の6カ国協議「共同声明」での合意事項にもなっています。「日朝平壤宣言」に基づいて交渉を進めるなかで、日本人拉致事件の道理にかなった解決も可能となります。よって日本政府に次の点の実現をつよく要請いたします

- 1、「日朝平壤宣言」と6カ国協議合意に基づいて、不幸な過去を清算し懸案事項を解決するとともに、早期に朝鮮民主主義人民共和国との国交を正常化すること。

| 氏名 | 住所 |
|----|----|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

【取扱団体】